

コンソーシアムの活動状況を知っていただくため、不定期でかわら版を発行しますのでご一読ください。

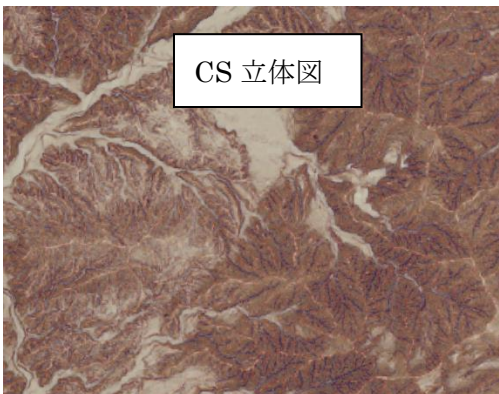
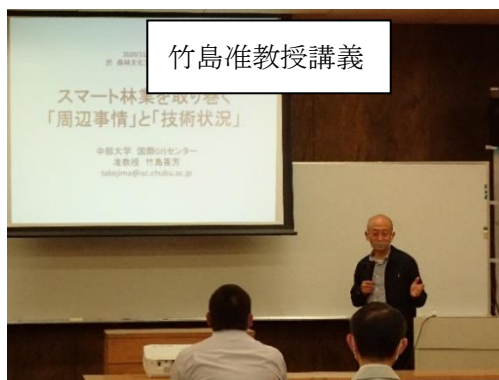
● **スマート林業で期待される最新技術の研修会を行いました。**

昨今「スマート林業」という言葉が使われ始め、新たな技術導入としてCS立体図や衛星測位による作業道計画の検討や、森林調査におけるドローンの活用といったことが行われています。しかし、スマート林業とは何か、何を目的にしているのか、実際にどのような技術が開発され、CS立体図や衛星測位といった利用可能なデータにはどのようなものがあるのか、といった疑問も会員から寄せられていました。

そこで11月24日、スマート林業で期待される最新技術について基本的なことを学びその技術を活用して会員の皆様にスマート林業に取り組むきっかけとしていただくことを目的に研修会を開催しました。当日はコンソーシアムの会員を中心に森林文化アカデミーの学生も含めた28名の参加がありました。

研修会の講師には中部大学 中部高等学術研究所 国際GISセンターの竹島喜芳准教授をお招きし、社会の変革 (Society4.0→5.0) を目指すスマート林業の背後にある政府の動きや、スマート林業をめぐる世間の動向をはじめ、ICTやIoTといった用語の説明や、レーザー航測データの活用方法など現在利用可能な技術についてご講義いただきました。

参加者からは、「大変面白かった」「研修時間をもっと取ってほしい」といった意見があり、「スマート林業に対して可能性を感じた」と高く評価する感想をいただきました。また、「今回紹介された技術を活用するためにワークショップ的な研修会を開いてほしい」といった次に期待する意見もありました。



## ● 「森林経営管理法及び森林環境譲与税の勉強会」を行いました

令和元年度から、「森林経営管理法」と「森林環境譲与税」がスタートしていますが、コンソーシアム会員から、制度の仕組みや活用方法、また県内市町村での取り組み状況等について知りたいといった意見がありました。

そこで、11月13日、新たな森林経営委員会主催で、森林経営管理制度及び森林環境譲与税の仕組み、県内市町村や他県での取り組み事例を知るための勉強会を岐阜県林政部林政課100年の森づくり推進室長の藤下定幸氏を講師にお招きして開催しました。

当日はコンソーシアムの会員を中心に森林文化アカデミーの学生も含めた38名の参加がありました。

勉強会では森林経営管理制度等について担当者ならではの詳しい話や優良取組事例についてお聞きすることができました。

その後の意見交換では講師より譲与税の配分や譲与基準に関する議論の状況や、制度のメリット・デメリットについての話がある一方、参加者からも制度運営にあたっての人的支援についての意見などもあり大変活発な意見交換となりました。

参加者からは、「参考になったので早速市役所に話に行きたい」といった高評価の意見を多数いただき、「林野庁のホームページではあまり理解できなかったが、今回の研修ではかみ砕いた説明もあり非常にわかりやすかった。」といった感想もありました。

コンソーシアムの各委員会では、このような勉強会や研修会が日々企画しています。今後も随時コンソーシアム事務局より情報提供・参加者募集をしますので、ぜひ積極的にご参加ください。



### <コンソーシアム関係の主なイベント予定>

1/13：第3回森づくりスタートアップセミナー（コンソーシアム協力）

1/20～1/22：林業事業体会計研修 ～施業集約化×事業体会計～

コンソーシアムで取り組んでほしい活動などありましたら、事務局までお気軽にご連絡ください

発行：岐阜県森林技術開発・普及コンソーシアム 事務局（岐阜県立森林文化アカデミー内）  
〒501-3714 美濃市曾代88 / TEL:0575-35-2535 / FAX:0575-35-2529  
E-Mail: gifu.shinrin.consortium@gmail.com